

土工事伏図取込で「構文エラー」が出る

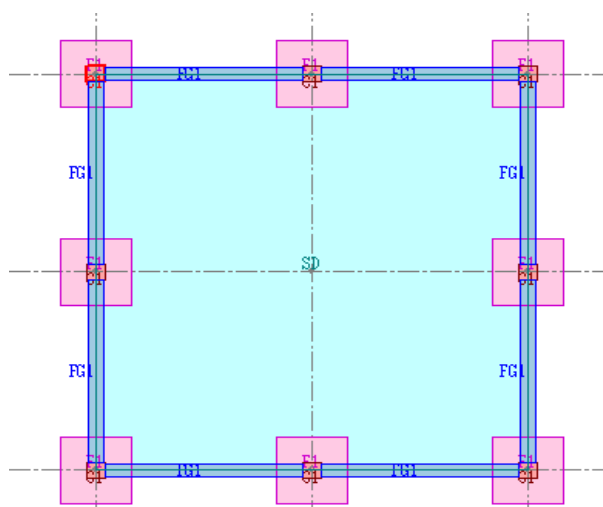
「土工事伏図取込」を実行した時、「構文エラー」が出る時、主に以下の原因が考えられます。

- ・スラブの配置とすきとりの配置で設定領域が異なる場合
- ・すきとりの必要ない場所（盛土が算出される場所）にすきとりを設定した場合
- ・基礎底が、GLより上にあるため、根切が不要な場合

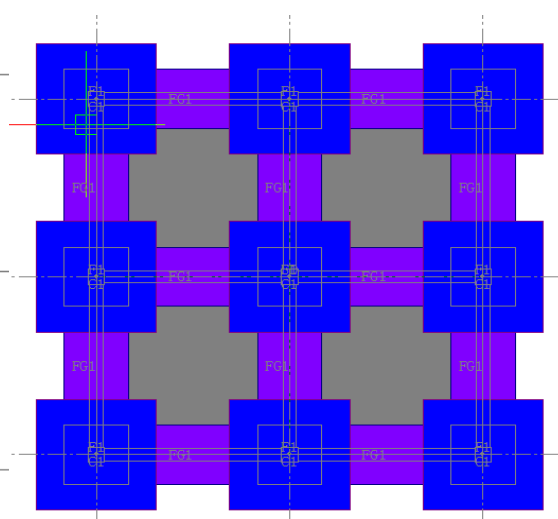
以下でそれぞれを詳しく説明します。

1. スラブの配置とすきとりの配置で設定領域が異なる場合

・スラブは任意線配置で、大きく1面で設定



・すきとりは1面ごとに、4面に設定



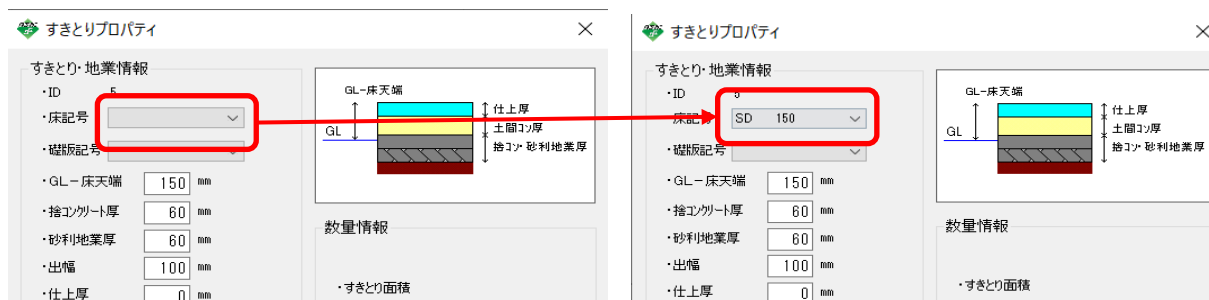
- ・上記の状態ですら「土工事伏図取込」を行うと、「構文エラー」となり、すきとりの欄でスラブ記号に「？」がついて取り込まれます。

名称	計算式
すきとり	
X1-X2 Y1-Y2 S?	$6.00*6.00*-0.03$ $-(1.87*1.87+1.87*1.87+1.87*1.87+1.87*1.87)*-0.03$ $-(2.257*0.994+2.257*0.994+0.994*0.994+2.257*0.994*2.257)*-0.03$
X2-X3 Y1-Y2 S?	$6.00*6.00*-0.03$ $-(1.87*1.87+1.87*1.87+1.87*1.87+1.87*1.87)*-0.03$ $-(2.257*0.994+2.257*0.994+0.994*0.994+2.257*0.994*2.257)*-0.03$
X1-X2 Y2-Y3 S?	$6.00*6.00*-0.03$ $-(1.87*1.87+1.87*1.87+1.87*1.87+1.87*1.87)*-0.03$ $-(2.257*0.994+2.257*0.994+0.994*0.994+2.257*0.994*2.257)*-0.03$
X2-X3 Y2-Y3 S?	$6.00*6.00*-0.03$ $-(1.87*1.87+1.87*1.87+1.87*1.87+1.87*1.87)*-0.03$ $-(2.257*0.994+2.257*0.994+0.994*0.994+2.257*0.994*2.257)*-0.03$
(計)	
(すきとり合計)	ND

これは、すきとりに対するスラブ記号が識別できなかったことを表します。

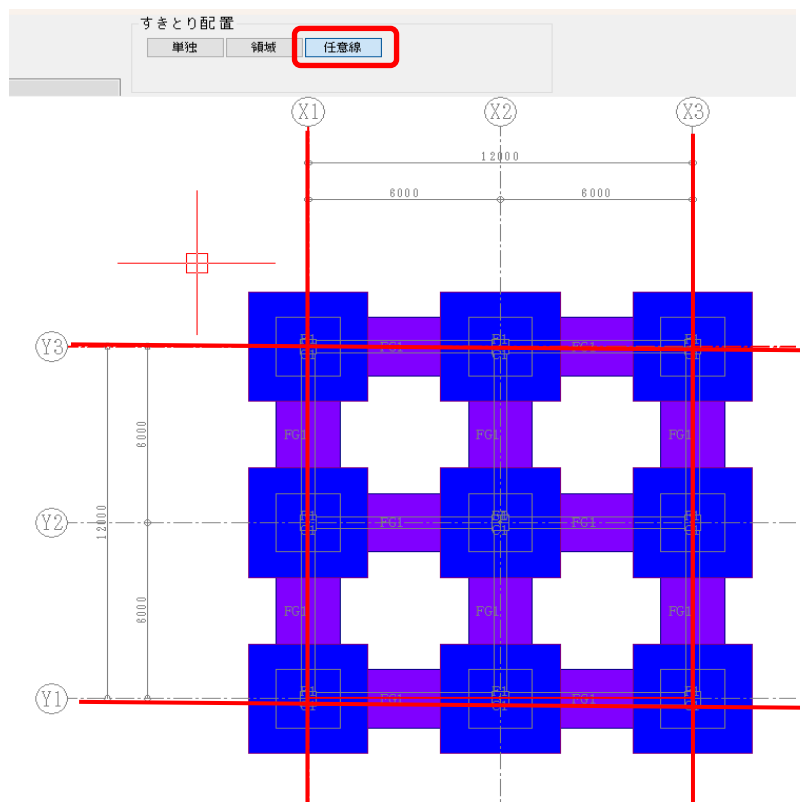
【対処法1】

すきとりのプロパティ画面で、「床記号」が未選択となっているはずなので、各すきとり面に対し、該当する記号を選択する。



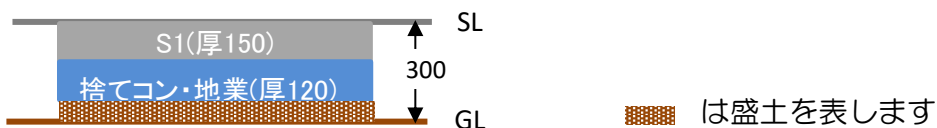
【対処法2】

すきとりの配置もスラブと同様、任意線配置でスラブと同じ領域で配置し直す。

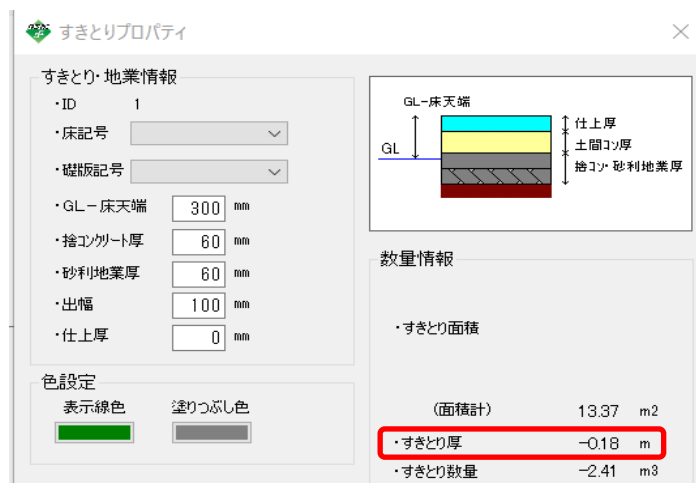


2. すきとりが必要ない場所（盛土が算出される場所）にすきとりを設定した場合

- 下図位置関係の時にすきとりは必要ないのに、配置した可能性があります。



- この時、すきとりプロパティを見ると、「すきとり厚」がマイナス値になっているはずです。



【対処法1】

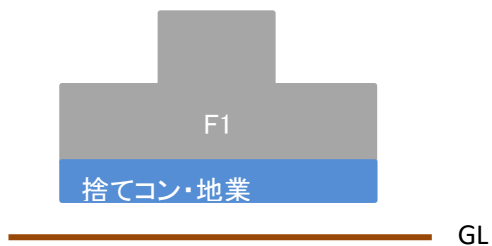
上図すきとりプロパティで「GL-床天端」の値が間違っている場合は、すきとり厚がマイナスとならないよう正しい値に修正してください。

【対処法2】

すきとりを配置したこと自体が間違いであれば、すきとりを削除してください。

3. 基礎底が、GLより上にあるため、根切が不要な場合

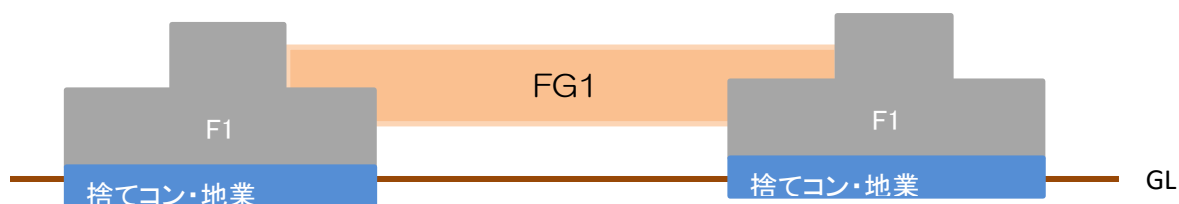
- 下図位置関係の時に、GL下コンクリートの欄で構文エラーとなります。



【対処法】

根切自体が不要なケースなので、土工事伏図画面より、該当基礎の根切を削除します。

- また、梁が下図位置関係の時に、構文エラーは出ませんが、上記同様根切が不要なので、該当の基礎梁の根切を削除する必要があります。



※基礎や基礎梁については、盛土は自動算出されません。
土工事拾い編集画面で手動で盛土を入力してください。